

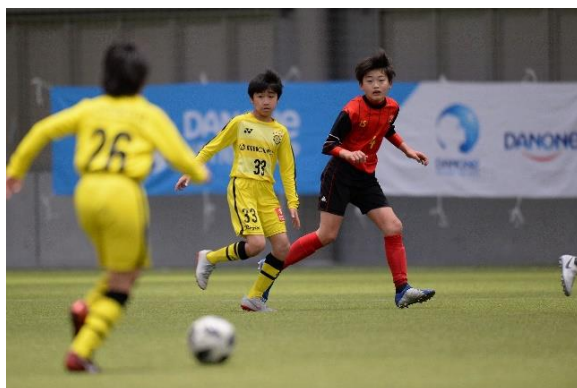
12歳以下の世界一を決める国際サッカー大会「ダノンネーションズカップ」の日本予選

ダノンネーションズカップ 2019 in JAPAN 福島会場予選

元サッカー日本代表

大会アンバサダー前園真聖氏が再始動後のJヴィレッジに初来場！

「世界を目指すことのできる歴史ある大会で、チームとしても個人としても志高くプレーして」



ダノンネーションズカップ実行委員会は、2019年2月3日(日)、U-12の世界一を決めるFIFA公認の国際サッカー大会「ダノンネーションズカップ」の日本大会「ダノンネーションズカップ 2019 in JAPAN」の福島会場予選を、JFA ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ(福島県双葉郡楢葉町山田岡美シ森8)にて実施いたしました。

今回の福島会場予選では、福島県内からの6チームをはじめ、過去に優勝経験のある「川崎フロンターレ U-12」や「柏レイソル U-12」などのJリーグの下部組織チームのほか、北海道、東北、北陸、関東、中部エリアより1道1都13県の全32チームが集まり、熱い戦いが繰り広げられました。今回の予選が3月に行われる本大会へ出場する最後の男子4チームの出場を決める大会ということもあり、これまでの地方予選の中でも類を見ないほどハイレベルな試合が繰り広げられました。

大会アンバサダーとして会場に訪れた前園氏は、参加した選手たちのプレーを観戦しただけでなく、サプライズでダノンヨーグルトのサンプリングも実施。選手だけでなく、会場に観戦に訪れた方々とのふれあいを楽しんでいました。

グループリーグ終了後、各グループを1位で通過した8チームの本大会出場決定戦の組み合わせ抽選を実施。前園氏がドローとなり抽選を行い、「川崎フロンターレ U-12」対「ブルーボタン SC」、「大豆戸 FC」対「柏レイソル U-12」、「浦和レッドダイヤモンズジュニア」対「東京ヴェルディジュニア」、「名古屋グランパス U-12」対「bandai12 ジュニア」の対戦カードに決定。過去にダノンネーションズカップ世界大会出場経験を持つ「川崎フロンターレ U-12」は、「ブルーボタン SC」を相手に試合開始から自慢のパスワークで翻弄し、見事6-0で勝利。その他3試合は、いずれもPK戦まで持ち込む拮抗した試合となり、「浦和レッドダイヤモンズジュニア」、「柏レイソル U-12」、「名古屋グランパス U-12」の3チームが試合を制し、本大会出場全チームが出揃いました。前園氏は「ダノンネーションズカップという歴史のある大会で、ぜひ世界を目指してチームとしても個人としても志高くプレーしてほしいです。」とコメントすると、本大会出場決定チームにエールを送りました。

「ダノンネーションズカップ 2019 in JAPAN」では今後、3月23日(土)・24日(日)に、駒沢オリンピック公園総合運動場にて、世界大会に進出する男女各1チームを決める本大会を開催いたします。本大会にも、福島会場予選同様、大会アンバサダーの前園真聖氏に來場していただき、決勝戦の解説や表彰式でのプレゼンターを務めていただく予定となっております。なお、本大会を勝ち抜いた男女各1チームは、今年100周年を迎える、ダノンのヨーグルト事業発祥の地であるスペインのバルセロナで開催される世界大会への出場権を獲得します。

■「ダノンネーションズカップ 2019 in JAPAN」福島会場予選 大会概要

大会日程：2019年2月3日(日)

大会会場：JFA ナショナルトレーニングセンター J ヴィレッジ（福島県双葉郡楡葉町山田岡美シ森 8）

参加チーム数：男子 32 チーム

スケジュール：

09：30	開会式 －代表挨拶 －選手宣誓 －集合写真撮影
10：00	グループリーグ開始
13：00	前園氏来場
14：55	グループリーグ終了 ～ 本大会出場決定戦組み合わせ抽選
15：20	本大会出場決定戦 開始
16：05	本大会出場決定戦 終了
16：15	表彰式
16：45	終了

■大会アンバサダー 前園真聖氏コメント

Q.今回福島県にお越しいただいて、会場の雰囲気はいかがでしょう。

A.「久しぶりに J ヴィレッジに来ましたが、子どもが一生懸命ボールを追っている姿を見られて、とても嬉しく思いました。」

Q.久しぶりに(J ヴィレッジに)来られたとのことでしたが、昨年の再始動後の J ヴィレッジはいかがでしょう。

A.「昨年 7 月に再始動した際、イベントでお声掛けいただいたものの、スケジュールが合わずに来られなかったのですが、やっと来ることができました。現役時代は J ヴィレッジでプレーしたことはありませんでしたが、(引退後は) 何度か来させていただいたものの、再始動後は初めてだったので、今度はサッカースクールで指導する立場で、子どもたちと一緒にピッチに立ちたいなと思っています。」

Q.昨年の 7 月に約 7 年ぶりに再開した J ヴィレッジですが、このような会場でダノンネーションズカップの予選を開催することを、どのように思われますか。

A.「ダノンネーションズカップは歴史もあり、世界を目指せる大会でもあります。それが J ヴィレッジで行われたことは、とても意味のあることだと思います。今年だけでなく、毎年継続して J ヴィレッジでこういった大会が行われることを願っています。」

Q.福島県内からは 6 チームが参加しました。残念ながら 6 チームとも予選敗退してしまいましたが、今後に向けてエールをお願いします。

A.「グループリーグは突破できませんでしたが、負けて学ぶことも多いと思いますし、このダノンネーションズカップに世界を目指すという位置づけで参加したことが重要な事だと思います。たくさん練習をして、是非また来年参加していただきたいです。」

Q.福島復興のシンボルとなりつつある J ヴィレッジには、今後なにを期待しますか。

A.「サッカーをしている人がここでプレーできる喜びを感じて欲しいと思います。日韓ワールドカップでグループリーグを初めて突破したときも日本代表はここで合宿していて、ここから始まったと言えると思います。これからもサッカーを愛する人たちが集まる場所にもなっていて欲しいですし、僕も協力できることはやっていきたいです。」

Q.福島県内では、冬の全国高校サッカー選手権大会での尚志高校の躍進で盛り上がりを見せていましたが、ぜひ福島県民に向けて一言をお願いします。

A.「僕自身も高校サッカーは見ていましたが、尚志高校の選手たちは地元の憧れにもなったと思いますし、今後 J リーガーを目指し、世界で活躍する選手たちが増えていくことで、福島のサッカーの発展にも繋がっていくと思います。」

■「ダノンネーションズカップ 2019 in JAPAN」福島会場予選 本大会出場決定戦 結果

本大会出場決定戦① 「川崎フロンターレ U-12」 6-0 「ブルーボタン SC」

本大会出場決定戦② 「浦和レッドダイヤモンズジュニア」 0-0(PK:2-1) 「東京ヴェルディジュニア」

本大会出場決定戦③ 「大豆戸 SC」 0-0(PK:1-3) 「柏レイソル U-12」

本大会出場決定戦④ 「名古屋グランパス U-12」 0-0(PK:3-2) 「bandai12 ジュニア」